

幸せの歌



JA宗谷南

2018NEN
NEW YEAR GOU
~SEASON60~

年頭の挨拶



宗谷南農業協同組合
代表理事 組長
向井 地 信之

新年明けましておめでとうござい
ます。年頭に当たり、謹んで新年の
ご挨拶を申し上げます。皆様におか
れましては、輝かしい新年を迎えら
れ、心からお慶び申し上げます。ま
た、日頃から農協の各事業の推進に
対しましては、格別なるご理解とご
協力を賜り厚くお礼申し上げます。
平成29年を振り返りますと、アメ
リカのトランプ大統領が、TPP協
定から離脱する大統領令に署名し、
主導してきたアメリカのTPP離脱
が正式決定となり、アメリカ抜き
のTPP11カ国でのスタートという想
定の結果となりました。しかし、
その後の日米首脳会談で確認した
日米経済対話をスタートさせてお
り、将来的には、日米FTA(自由貿
易協定)に発展する可能性もあり
ます。

国内農政については、政府は改正
畜産法の政令を閣議決定し、指定
団体以外に出荷する酪農家にも一
定の要件を満たせば、加工原料乳
生産者補給金を交付する法案が成
立しました。また、一方で現行の指
定団体など指定事業者には、補給
金とは別にあらゆる地域を集送乳
する経費として、集送乳調整金も
支払われ、指定事業者にとって調
整金は他の事業者に対するアドバ
ンテージ的な位置づけとなりました。
農協合併につきましては、当初4J
Aを基本として進めて参りましたが、
中頓別町農協が離脱し、ひがし宗谷
農協は、諸事情があり合併の時期
を先延ばしして頂きたいとのこと
から、歌登農協と北見枝幸農協が先

行し合併した経過にあります。しか
し、ひがし宗谷農協との合併の形は
残したまま現在に至っております
が、酪農情勢の変化と共に組合員
の考え方も変わってきて、昨年に入
り相手側より正式に理事会で決議さ
れ、合併を解消致したいとの意思表
示を文書で頂きました。当農協もこ
の意向を受けて理事会にて協議し、
相手側の意向を拒否する事が出来
ないことから白紙となる事になりま
した。8月に宗谷農業会館において
中央会立会のもと、宗谷南部JA合
併検討協議会を正式に解散致しま
した。つきましては、合併当初の目
標であります生乳生産量6万ト、貯
金高100億円に向かつて努力した
経過にあります。貯金高については
は目標を大幅に上回る136億円を
超えております。引き続き生乳生
産量6万トを達成できるよう努力
していききたいと思います。

また昨年の当農協における生乳生
産量は、上半期から前年比を下回
る状況でありました。11月に入りよ
うやく前年対比100%を超えるよ
うな状況となりましたが、29年の
出荷量(クミカン年度)は、56,18
5トで前年対比99.4%にとどまり
ました。個々の組合員に於いては、
生乳増産を目指される方々も多く
見受けられますが、昨年は、搾乳中
止や離農組合員が4戸を数えた事
や、天候不順の中収穫された事によ
り、タンパク・エネルギー等の栄養価
が低い粗飼料収穫となった事も要
因と思われる。その様な状況か
ら当農協は、生乳増産対策として、

年度当初から前年対比増産量に対
しkg/10円のプレミアム乳価事業を
実施し、今年度の予想実績では、1
千万円弱程になる見込みをしてお
ります。

組合員の営農収支内容につきまし
ては、生乳生産量が減産となった組
合員も散見されましたが、一昨年
から肉用牛、特に初生犢・F1の価
格高騰が継続的に続いた事もあり、
クミカン精算は問題無く終了する
見込みであります。新年度の営農
計画樹立に於いても、無事策定を終
えましたが、一部の組合員に於かれ
まして厳しい内容となっております。
個体価格の高騰や、乳価が高値の
状況ではあります。今後を見据
え、個体販売の下落や、乳価の値下
げも想定した営農計画を策定して
いかなければならないと思ってお
り、やはり組合員の所得向上には生乳
生産が基本でありますので、日頃の
乳牛管理を含めた飼養管理を徹底
する事や、牛舎増設、倉庫、育成牛
舎等の施設投資も将来の経営安定
につながる事を念頭において、生乳
生産増加に取組んで頂きたいと思っ
ております。





公共育成牧場につきましては、昨年は受入頭数が急増し一時飽和状態となり、10月中旬には、哺育預託の受入を一時停止する事となりました。枝幸町公共育成牧場の建設された趣旨は、育成部門の労働力軽減と枝幸町酪農・肉用牛生産近代化計画を基にした、生乳生産の増産を目的とした施設であり、個体販売に向けた育成牛の受入施設ではありませんので趣旨をご理解の上ご利用頂きたいと思っております。また、夏期の一斉入牧牛につきましても、秋期の一斉退牧が基本ですのでご理解の程宜しくお願い致します。

また、一昨年に引き続き酪農経営に希望を持ち1戸の新規就農者が昨年就農し、新たな組合員となられましたので、地域組合員の皆様には、助言、ご指導をお願いするところであります。

組合事業の年度末収支見込につきましては、前年と同様に安定しております、販売事業につきましては、生乳販売量の落ち込みはありますが、個体価格の高値により良好に推移しており、購買事業全体と致しましても本年度計画を推移しております。懸念事項であります不採算部門については、経営改善が求められている中、試行錯誤しながら解消に努めている所であります。Aコープについては、パート職員の退職も多々あり、パート職員の補充もままならず、最小限の人員で運営している状況の中、移動購買車については、購買車の老朽化、維持管理費等の事情もあり、9月より注文配送に切り替えさせて

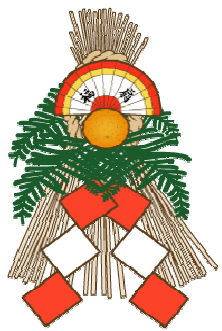
頂きましたが、ご利用の皆様には行き届かない面も多々あるかと存じます。今後ともご利用頂きます様お願い申し上げます。また、メカニックサービスにおいても、最低限の工員で営業を維持している状況であり、近年の車両・農機具につきましても、ハイブリット化されている車両が多く、当工場での対応が難しい状況の中、毎年車検台数は減少し、メカニック取扱高も減少しておりますが、今後も組合員皆様のご利用、ご協力を仰ぎながら整備事業を継続出来る様事業展開してまいりますので、ご理解を賜りたく宜しくお願い致します。

また、子会社の(株)アグリサポート枝幸に於きましては、昨年春に施設着工し始め、いよいよ今年2月には、500頭牛舎が完成し、生乳生産をする運びとなります。このメガファームにつきましては当農協合併時の生乳生産目標6万トンを達成するため、また今後の宗谷南農協の基盤強化、現状乳量の維持、増産、離農跡地の補完等を目的とし、地域の雇用も視野に入れての構想でございますので、組合員皆様のご理解を頂きたいと願っております。

最後になりますが、組合員並びにご家族様、関係各位の皆様にとって事故のない健康で豊穡の一年であります様衷心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

宗谷南農協同組合

代表理事組合長	向井地 信之
理事・総務委員長	下山 勲
理事・業務委員長	小野寺 俊一
理事・生活店舗 整備工場運営特別委員長	小林 政夫
理事・総務副委員長	木村 浩
理事・業務副委員長	吉田 明彦
理事・生活店舗 整備工場運営特別委員長	山崎 幸夫
理事兼 理事兼金融共済部長	寺前 孝義
代表 監事	清野 盛
代表 監事	高橋 壮治
監事	佐々木 英世
監事	平田 勝一郎
他 職員一同	



年頭の挨拶



北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成30年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先は晴れの日が多く、気温も高かったことから農作業・生育も順調でありました。9月中旬以降は、雨の日が多く収穫作業に遅れが発生し、特に9月18日の台風18号によって、全道的にデントコーン・水稻の倒伏、農業施設の損壊などにより、農作物の品質、収量に懸念が生じたところでした。

しかしながら、結果的には、米は、作況指数が103の「やや良」、小麦・てん菜は、収量・品質とも平年作、生乳は、全般的に安定基調と組合員の皆様の努力の成果が報われた1年となりました。平成28年9月に4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生し、その傷も完全に癒えない中ではあります。『それでも種をまく。』という農民魂のもと、JAグループ北海道は着実に前を向いて歩んで参ります。

ます。

一方、国際貿易交渉の状況は、TPP11、EUEP A、米国との貿易交渉など、その進展状況と合意内容、農業経営への影響など生産現場に十分伝わっていないこともあり、将来への不安を抱え、担い手の生産意欲の減退が懸念されるところです。

農協改革、規制改革では、生産資材価格の引き下げと見える化、牛乳・乳製品の生産・流通においては、新たな加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜産経営安定法が成立するなど農業政策対応に追われた1年でありました。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る 力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところであり本年はその総括年度となります。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、新規担い手倍増と550万人サポーターづくり・准組合員制度をテーマにJA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

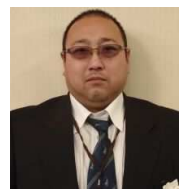
関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

結びになりますが、今年の干支は戊戌(つちのえ)いぬです。

「説には、戌は、「茂」に通じる意味があり、「植物の成長が絶頂期にある状態」を表しているとのことであります。今年はこの戌年にあやかり、天候に恵まれ実り多い豊穰の1年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の「一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



新年の挨拶



J A 宗谷南青年部
部長 松田



新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶申し上げます。旧年中は部員並びに組合員様ご家族様、また宗谷南農協を始め各関係機関の皆様方には、日頃の青年部活動に対しまして、ご理解、ご協力を賜り誠に有難うございました。

昨年を振り返りますと、トランプ大統領がアメリカ経済第一主義を掲げ、TPP協定からの離脱を正式に決定しました。離脱が決定されたことで、新たに二か国間交渉FTAへ進展する意向を示し、我々酪農家も今後の動向を注視していく必要があると思えます。

また、国内の酪農情勢では、個体価格の高騰や高水準の乳価が続く、農家の所得向上につながる傾向ですが、個体価格に關しましては、今後も高騰が続くか不透明な状況である為、やはり生乳生産に力を入れていかななくてはならないと感じております。

青年部の活動としましては、11月に音標小学校で酪農体験授業が行われ、音標の今牧場で牧場見学、音標小学校で座学・バター作りを行いました。牧場見学では、初めて目にする搾乳牛のあまりの大きさに驚きながらも、今さんの説明に耳を傾けていました。座学で

は、子供たちの酪農や乳牛に関する素朴な質問に答えていきました。バター作りは「みるきいちゃん」も交わり、熱心にペットボトルを振り徐々に固まるバターに喜びながら作りました。初めての試みではありましたが、参加した子供たちから大好評に終わり、今後の食育活動に繋がるものとなりました。

12月の全道大会では、合併し、宗谷南農協としてスタートしてからの活動実績を当時の思いを振り返りながら発表しました。発表に向けて、8月から準備に取り掛かり、繁忙期と重なりながらも合間を見て練習した甲斐もあり、無事終了することが出来ました。

よくばりフェスタ、流水フェスタ、サマーフェスタ等消費者との交流も「みるきいちゃん」のおかげで大変盛り上がり、今後も町のイベントに積極的に参加し、牛乳の無料配布などによる牛乳消費拡大活動を続けていきたいと思えます。

食育活動においても、子供たちに牛乳のことをもっと知って頂き、好きになってもらうため、紙芝居の読み聞かせを今後も継続して行きたいと思えます。

最後になります。旧年中はご迷惑や至らない点が多々ございましたが、本年は青年部の更なる発展を目指し、部員一同邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどを宜しくお願い申し上げます。新年の挨拶に代えさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



宗谷南農協青年部

監事	監事	理事	理事	副部長	副部長	部長
井上	高橋	山崎	関口	大塚	真壁	松田
英	慶	知	真		哲	
之	大	紀	也	悟	也	司

新年の挨拶



J A 宗谷南女性部
部長 奥出 咲

新年明けましておめでとございます。平成30年の年頭に当たり、一言御挨拶申し上げます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。また、日頃より女性部活動に対しご理解、ご協力を賜っている部員・ご家族様、各関係機関の皆様には厚くお礼申し上げます。

さて、今年はどうな一年になるのでしょうか？平成も来年4月を以て年号が変わる事が決まりました。2年後には東京で2度目のオリンピックが開催されます。今、急ピッチで競技場の建設、整備が進められている事等は各メディアからの情報で皆様もご存じの事と思います。そう言う状況からでしょうか、牛の個体価格は一時よりかは下降気味のような気がしますが、まだまだ価格は安定している様です。東京オリンピックまではこの価格安定は続くと聞いておりますが、私達は生産者でもあり消費者でもあります。今年のお正月用の牛肉も去年よりどの部位も値上がりし、出費がかさみました。また、昨年の野菜の店頭価格もそうでしたが、主婦の立場ではホウレン草が一束200円では手が出ません。二日程

前から自家菜園を義母より渡されましたが、まだまだわからない事ばかりです。今年ももう少し勉強して食卓に自家野菜をのせたいと思っております。

女性部の活動では、昨年9月に部員12名で旭川へ視察研修に行かせて頂きました。今回は日帰りでしたのでゆっくりとした部員同士の交流が少なく感じましたが、有意義な研修旅行と思える内容でした。10月には宗谷地区女性部研修大会に6名が参加し、ヨガ教室で体を動かし宗谷地区の女性部の方と研修し交流を深めることが出来ました。

また、同月に生活工夫展を行い、部員の心のこもった作品が多数出展され、家の光大会への展示品を選ぶのには苦労しました。そして、11月にはJA女性リーダー研修会、家の光大会には4名の部員を出席させて頂き、食と農に関する活動「ふれあい助け合いのある住みよい地域社会づくり」、

「JA経営への積極的参画」に取り組みさらに、部員一人一人が心をひとつに出来るよう十分な話し合いを心掛け課題、問題点の改善を図り自主的な組織活動を行う事など確認いたしました。また、全国女性協の3年計画であります「ふみだす勇氣、学ぼう伝えよう地域と共に」の最終年になります。当女性部も地域と共にする食と農を基軸とした活動が出来る様心掛け、部員と共にゆとりとふれあい、助け合いを忘れず、協同組合の一員として学習活動を進め、今年一年心豊かに生活出来る様務めて参りたいと思っております。

最後になりましたが農協始め、組合員の皆様、関係機関の皆様の当女性部へのご指

導ご協力を心よりお願い申し上げます、皆様の「ご健勝とご多幸を」ご祈念いたしまして新年の挨拶と致します。



宗谷南農協女性部

部長 奥出 咲
 副部長 戸澤 宏美
 副部長 菊池 静子
 理事 生方 和歌子
 理事 今井 美奈子
 監事 閑地 かはる
 監事 山崎 由香里



宗谷南
酪農ヘルパー利用組合

組合長 石田 幸也
副組合長 澤田 和人
理事 小林 政夫
理事 高橋 博則
理事 松井 康有
理事 桜庭 明彦
代表監事 廣川 拓也
監事 山岸 也須彦
監事 安井 一晃

他職員一同



宗谷南乳牛検定組合

組合長 下山 勲
副組合長 今尚 春
理事 関口 真也
理事 山岸 也須彦
理事 向井地 善史
代表監事 井上 英之
監事 藤山 祐介
監事 高橋 慶大



宗谷南
乳質改善協議会

会長 向井地 信之
副会長 山崎 孝敏
副会長 生方 順亮
監事 中野 隆
監事 大塚 悟



謹賀新年

昨年中は大変お世話になりました。衷心よりお礼申し上げます。
今年も自己研鑽を重ねて知識と技術の向上を図ってまいります。
何とぞ、昨年と変わらぬご利用・ご活用を賜ります様お願い申し上げます。
皆様におかれましても、健康で稔り多い年であります様ご祈念申し上げます。



枝幸郡枝幸町幸町8121番地3
株式会社 アグリサポート枝幸
代表取締役 向井地 信之
職員一同

